

(別紙1) 令和2年度 夢但馬応援事業 実施報告書

<事業名> 小代ヒメボタルツアーガイド育成事業

団体名	宙の森ネイチャークラブ
所在地	兵庫県美方郡香美町
代表者名	田中誉人

事業内容	<p>令和2年5月より、ヒメボタルのツアーガイドになりたい方を一般広報で集め、月1回程度集まりながら、以下の活動を実施した。</p> <p>①ヒメボタルの生態を学び生息地を調査し、生息地の保護の在り方を検討。 ②町民に対し貴重な自然資源を周知し、地域をあげた保護活動を行えるよう行動。 ③ヒメボタル観察ツアーを指導できる指導者の育成。 ④小代観光協会と連携した一般対象としてヒメボタル観察ツアーの企画運営。 ⑤継続的な生息地の保護活動の実施</p>	
地域	香美町内	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果</p> <p>ヒメボタルを保護するだけでなく、多くの方にヒメボタルの生態を知っていただき、自然豊かな香美町そのものもアピールしたいという思いがより強くなった。</p> <p>今まで、自分たちだけではツアーや保護活動など大きなことできないと悩み、考えながら活動していたが、活動への賛同の声は意外に多く届き、私たち自身の活動を続ける意義を再認識し、より活動を発展させながら続けることへの意識向上となった。</p> <p>②地域への効果</p> <p>ヒメボタルツアーガイド養成講座終了後、何度かモニタリングツアーを実施し、新聞社等にもとりあげていただく中、ツアー実施中に周囲の人家や施設が外灯を消していただいたり、生息地の環境整備のため、私有地や町有地の土地利用を許可いただけるなど、地域の協力が得やすくなった。</p>	
事業経過	令和2年	<p>4月25日 小代観光協会とガイド養成開催についての意見交換</p> <p>5月25日 生息地現地状況確認、講師手配。</p> <p>5月27日 ヒメボタル生息地現状調査</p> <p>6月10日 第1回ヒメボタルツアーガイド養成講座</p> <p>6月17日 第2回ヒメボタルツアーガイド養成講座</p> <p>6月20日 生息地環境保全活動 ガイド指導シュミレーション研修</p> <p>6月20日～ 7月11日 ゲンジ・ヘイケボタルツアーガイド指導実習 （共催）小代観光協会主催ホタルモニターツアー 参加者のべ76人</p> <p>7月1日 第3回ヒメボタルツアーガイド養成講座 指導実習</p> <p>8月5日 生息地環境保全作業</p> <p>9月3日 生息地環境保全作業 ～7日 （共催）小代観光協会 NICE 日本国際ワークキャンプセンター</p> <p>10月14日 生息地環境保全作業</p> <p>11月11日 生息地環境保全作業</p> <p>令和3年 1月5日 令和2年の生息地環境保全活動の評価及び今後の方針についての協議</p>

協働の相手方	<p>小代観光協会 NICE 日本国際ワークキャンプセンター</p>
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題 生息環境維持のための知識がまだまだ不足しており、継続的に勉強会を開く必要がある。特に、維持作業を行っても、その成果は2～3年後にわかるので、長いスパンでの経過観察を必要とし、そのための活動メンバーの確保、補填、資金等の工面をおこなう必要がある。</p> <p>②地域の課題 香美町は兵庫県内でも有数の豊かな自然を保有しているが、その恵まれた環境や、そこへ生息している生き物に対する意識は非常に低く、ヒメボタル観察会もイベント的に無料で開催すれば一時的に参加するが、生息域の保護活動までつながらない。今後は地域の学校や公民館でも学ぶ場を作るなどの環境を整える必要がある。 また、ホテルの生息域は個人有地にあたるため、地主の方への協力を仰ぎ、理解いただいたうえでツアーの参加者を案内するなど、生息域及び観察ツアー実施について周辺理解を進めなければならない。</p> <p>〈令和3年度以降の事業計画〉</p> <p>①ツアーガイド養成講座及び研修会を継続実施 ②観察ツアーの開催 ③生息域の環境保全作業の継続</p>



令和2年6月10日ヒメボタルツアーガイド養成講座



令和2年6月17日ヒメボタルツアーガイド養成講座



令和2年6月20日 木ノモとーツアー



令和2年8月5日 生息地環境保全